

ノンバンク金融仲介の機能

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2026.2.24

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



ノンバンク金融仲介

銀行以外の主体が実行する融資の総称で、証券会社や投資ファンド、保険会社、年金基金、ファイナンス会社が含まれる。従来使われていたシャドーバンキングという用語に代わって、金融安定理事会 (Financial Stability Board、FSB) などの国際機関を中心に導入された用語で、Nonbank Financial Intermediation、NBFIIという。2015年ごろから使われ始め、2018年にFSBが公式に名称変更を導入した。ノンバンク金融仲介という用語には、金融仲介において、バンクとノンバンクを並列におく思想があると考えられる。

ノンバンク金融仲介の規模

2024年末の資産規模は257兆ドルに達し、銀行セクターの約2倍のペースで成長し、世界の金融資産の51%を占める。投資ファンド、ヘッジファンド、MMFが主導しており、米国が約19.2兆ドル(シェア30.4%)で世界最大、次いでユーロ圏、中国が続く。FSBはモニタリングを強化し、レポートを公表している。

<https://www.fsb.org/uploads/P161225.pdf>

ノンバンク金融仲介の主な課題

1. レバレッジの拡大とリスク増幅
2. 流動性のミスマッチ 特にオープンエンド型ファンド
3. 銀行システムとの相互接続性 (Interconnectedness) 銀行による貸付
4. 監督・規制上のデータギャップ モニタリング強化の背景
5. 市場の流動性低下と価格不透明性 公正価格評価の難しさ、ボラティリティの高さ

フィンテック

フィンテックとは金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語で、IT技術を使った新たな金融サービスを指す。フィンテックにより、銀行をはじめとした金融機関の既存の業務が効率化されることはもちろんのこと、決済や情報管理の効率化から今までは不可欠であった金融が不要となったり、フィデューシャリー・デューティーの観点で問題となっていた情報の非対称性が解消されるなど、従来の金融の枠組みに変革をもたらすことが予想される。

ブロックチェーン技術

1人の台帳管理者に依存せず、分散したネットワークに共通されている台帳に電子署名の技術を用いて記帳し取引の正確性、信憑性を確保する技術。もともと暗号通貨であるビットコインの公開台帳を管理するために開発された技術だが、様々な取引の管理に応用可能で、効率化・低コスト化されることが期待される。サプライチェーンや取引の自動化・効率化は、貿易金融などの取引に要する時間を補完する投資機会を消滅させることが予想される。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

銀行とノンバンクのサービス範囲

銀行のバランスシート

貸出金 コールローン	預金
現金・預け金	借入金
有価証券	銀行債等
	資本金 国際統一基準8%+ 国内基準4%+

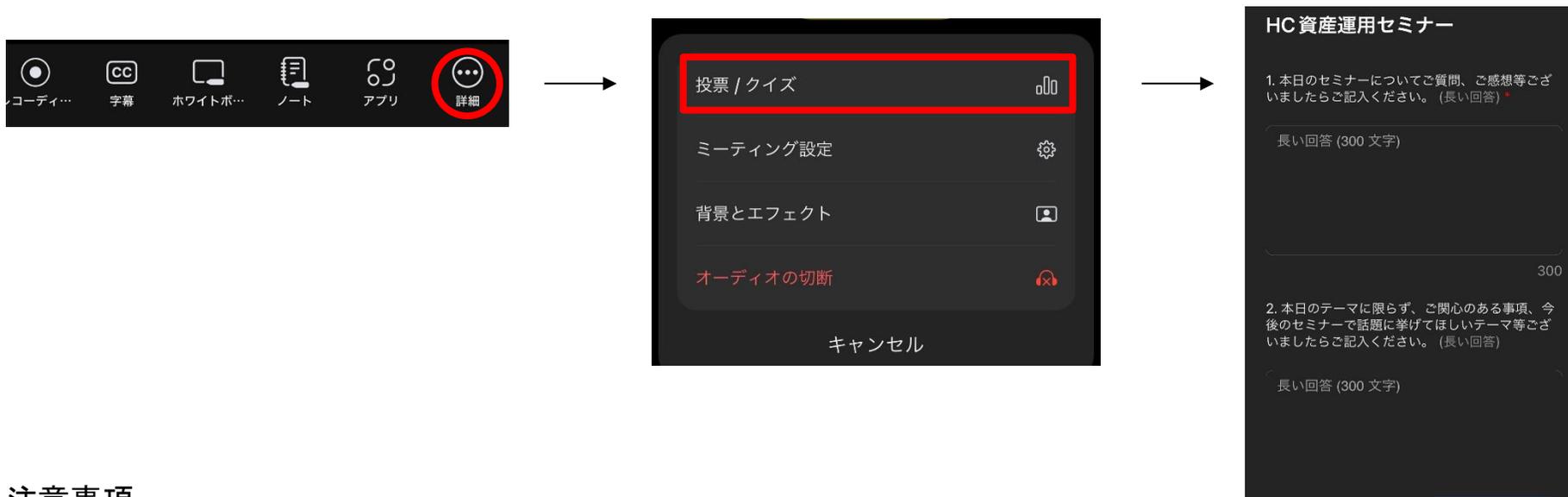
- ・ 銀行は主として預金で調達。
- ・ 資本金比率は低く、資本規制の制約あり。
- ・ 預金は常時引き出し可能であるため流動性管理が重要。
- ・ 融資は決済資金中心
- ・ リスクウェイトが高い対象は保有しづらい

主たるファンド領域

- セカンダリーローン／BDC
 - 銀行から法人向けローンを取得。
 - 銀行はリスク資産圧縮し売却手数料を得る。
 - どれだけ大きいファンドでも銀行ほどの規模感はなく分散は限定的。
- CLO
 - セカンダリーローンの規模感をさらに大きくし、格付別に区分発行。
 - ABSの一種であるものの、決済性融資ではなく法人向け。
 - 信用リスク管理は統計的であることが多い。
- ダイレクトレンディング
 - 銀行に制約がある資金調達者に対する融資を担う。
 - 銀行の融資枠を超える成長資金需要に対する融資、銀行にとってリスクウェイトが高い領域に対する融資(不動産開発融資等)、銀行の融資基準を満たさない状況における融資など多様。
- ビッグデータ・フィンテックを活用した小口融資／ABL／ABS
 - オンライン型ファイナンス会社の発展の裏には、瞬時に信用審査できる仕組みの開発がある。
 - 伝統的なカードローン、自動車ローン、学資ローンに加えて、消費者向けの様々なローンや法人向けの売掛金や小口債権を裏付けとするABLなど多様な対象に発展。

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。